

[エクラ]

知性も経験も、輝きだすのは今。

éclat

11 November 2009
特別定価 840yen

<http://eclat.shueisha.co.jp>

BEAUTY
嶋田ちあき
人生を変える「眉」の描き方
ヘアカタログ
進化する知永子ヘアに続け!
人気美容師とつくる
「私」ヘア

TRAVEL
有元葉子
カナダ
メープル街道の旅

FASHION
黒田知永子
着こなし劇場
ワザあり、コツあり、秘策あり
コンプレックスの
ある人ほど
おしゃれ上手!

ファッション特大号

100%知永子スタイル 秋の新法則

秋の3大ヒットアイテム!
納得価格の「ファー」/お得な「2way以上」の服/一生ものの「ブーツ」

エクラ特別編集/別冊
樋口可南子の京都

別冊
エクラプレミアム通販
上質な旅の
マストアイテム

『ホテル グレージュ』 デザインと過ごす最上の時間

白砂の浜辺に打ち寄せる波、
刻々と空を染めるサンセット。
かの『日本書紀』に
「鯨神が降り立った」と
記される玄界灘の神楽に
10月1日、『ホテル グレージュ』が
グランドオープンした。
インテリアデザイナーの
カトリクス・メネガ
空間を手がけた日本初のホテル。
最高のロケーションの中で、
洗練されたインテリアデザインを
心ゆくまで体感したい。

CATHERINE MEMMI

日本で初めて、カトリーヌ・メミが
インテリアデザインをプロデュース

撮影/大槻夏路 取材・文/小森知佳 MAP制作/地図屋もりぞん

一歩手前には天井裏に並び、奥のロケーション、影々と空を染めて流る夕日は、見ているだけで息を止める。「オテル グレージュ」は、カトリーヌ・メミが考案したもの。「グレージュ」はフランス語でグリーンとベージュの中間色のこと。ロビーからチャペルへと続く長さ60mの廊下には、ハードルの椅子が並び、このモデルのために特別にデザインされた写真が、柔らかなアクセントに



カフェやバーにと、一日を通して利用できる「ラ・ギャルリート」は、朝昼と、日夜ともに賑やかにゆめく共に、ゆったりとした時間が流れる。

(2階) レストラン「ロルキテ プランシユ」には、「白い壁」の写真を通して、地元の素材を使った本場フレンチが、目の前に広がるオーシャンビューとともに味わえる。②海からの風が心地よい、プールやアウトドアバスに囲まれたラウンジ「ラ・ギャルリート」③ライトアップされたプールサイドがリゾート気分を盛り上げる④エントランスを飾るシャンデリアは、メミのイメージをもとに、イタリアのガラス職人が一枚ずつつくくりしたこだわりの品



カトリーヌ・メミ

広告代理店に勤務のち、'90年にCATHERINE MEMMIブランドをスタート、'90年代のアメリカのミニマリズム、日本のオリエンタリズムに影響を受け独自の美意識を築く。'99年6月、カッシーナ・イクスシーブ日本店に「エスパス カトリーヌ・メミ パリ」をオープン。



メミの美意識と アートのマリアージュ

ホテルに一步足を踏み入れると、そこはアーチの回廊やガラスのシャンデリアが輝いてくれる非日常の世界。カスタマイズされた家具やアートが彩る贅沢な空間へ。

また、正面に海を見出すフレンチレストラン「ロルキテ プランシユ」は、胡蝶蘭をイメージして、インテリアからアートまで、すべて白でコーディネート。二友、暖かさを備えた地産のラウンジ「ラ・ギャルリート」は、ダークグレーでまとめ、いずれもインテリアを主張しすぎることなく、調和をきかされた。アートの飾られた回廊をめぐり、レストランやラウンジで過ごす休日、邸宅のような心地よいスケール感とあいまって、洗練されたインテリアがラグジュアリーな気分を高めてくれる。

このホテルのインテリアデザインをプロデュースしたのは、ネオ・ミニマリストとして時代の潮流をうみだしてきた、カトリーヌ・メミ。客室やパブリックスペースのインテリアはもちろん、ホテルの名前までアイデアを提供するなど、彼女の美意識が凝縮されている。エントランスでゲストを迎え入れるのは、ゆるやかなアーチ天井を彩るガラスのシャンデリア。続く回廊には、クララ・アルチエールの彫刻や、クリスチャンヌ・ペロシヨンの陶器が並ぶ。「ホテルは日常を離れて、くつろぐための場所だから」と、いつもの直観のラインやコントラストをきかせたデザインは控えめに、ナチュラル感を醸し

出、ゆるやかなアーチ天井を彩るガラスのシャンデリア。続く回廊には、クララ・アルチエールの彫刻や、クリスチャンヌ・ペロシヨンの陶器が並ぶ。「ホテルは日常を離れて、くつろぐための場所だから」と、いつもの直観のラインやコントラストをきかせたデザインは控えめに、ナチュラル感を醸し出す。美しいオーシャンビューに恵まれたこのホテルのインテリアデザインをプロデュースしたのは、ネオ・ミニマリストとして時代の潮流をうみだしてきた、カトリーヌ・メミ。客室やパブリックスペースのインテリアはもちろん、ホテルの名前までアイデアを提供するなど、彼女の美意識が凝縮されている。エントランスでゲストを迎え入れるのは、ゆるやかなアーチ天井を彩るガラスのシャンデリア。続く回廊には、クララ・アルチエールの彫刻や、クリスチャンヌ・ペロシヨンの陶器が並ぶ。「ホテルは日常を離れて、くつろぐための場所だから」と、いつもの直観のラインやコントラストをきかせたデザインは控えめに、ナチュラル感を醸し出す。

ビーチフロントに立つシックでモダンなデザインホテル



HÔTEL GRÈGES



客室の家具はもろもろを揃えて
 メミがデザイン。「ラ スイート プ
 ランシュ」の白い空間によって、
 気持ちまでまっさら



！シックな色調が落ち着いた雰囲気を醸す「ラ サンドレ」、
 ダークグレーで統一された部屋は、都会的な雰囲気
 →「ラ スイート プランシュ」の70㎡のバルコニー、海を眺
 めるジャグジーバスは、アウトドア気分できつる

テーマカラーで統一された 洗練のゲストルーム



コバルトブルーの海を眺める室内は、白、ベージュ、
 グレーの3パターン。“色彩の魔術師”と呼ばれる
 メミが選びぬいた繊細な色や素材使いに美が宿る。

このように中間色を重ねて温かみのある空間をつくる手法は、彼女の「ノルマンディの家」にも通じる。パリから2時間の英仏海峡を眺めるこの週末の家は、彼女にとって家族とともに過ごし、あわただしい日常から離れて心身をリフレッシュする場所。
 「オフの時間があるから、煩雑な日常から少し離れて人生を堪能できる」
 シンプルに徹したメミのインテリアに包まれ、潮騒に耳を傾けていると、一日の表情の息遣いもつかされる。かけがえのないオフの時間がここに

空間に仕上がっている。
 ある空間をつくる手法は、彼女の「ノルマンディの家」にも通じる。パリから2時間の英仏海峡を眺めるこの週末の家は、彼女にとって家族とともに過ごし、あわただしい日常から離れて心身をリフレッシュする場所。
 「オフの時間があるから、煩雑な日常から少し離れて人生を堪能できる」
 シンプルに徹したメミのインテリアに包まれ、潮騒に耳を傾けていると、一日の表情の息遣いもつかされる。かけがえのないオフの時間がここに

東京のロケーションと、メミならではのインテリア。その両方を満喫できるのが全室の客室だ。最も広い部屋でバルコニーを含めて100㎡の広さのある客室は、海を眺めるバスルームを備えた開放的なプランとなっている。
 室内は、白とベージュ、グレーの3パターンを基本に、家具はもろもろん床やバスルームのタイルまでトータルでコーディネートされているため、部屋によつて雰囲気は一変する。
 「ラ スイート プランシュ」は、6室中で最も白い部屋。上質なファブリックを用いたソファやカーテン、革張りのベッド、取っ手に革を用いたチェストなど、さまざまな素材の「白」を重ねることで単色の空間に温かみを与え、同時に気流すがすがしさを表現する。ほかにダークグレーの「ラ サンドレ」はモダンな力強さを、また生けり色の「ラ ベージュ」は穏やかさを際わけており、メミらしい技をつくした空間に仕上がっている。

シンプルを極めた
 真のラグジュアリー空間



同系色のインテリアは素材で陰影を表現する

●床が広く、背もたれが低いソファは居心地も抜群 ●シメトリに家具を配したベッドまわり、ベッドヘッドに配した平床文様さんのリトグラフまで、徹底して色調を統一 ●空間の広がりや陰影をじゃましないよう、高さは低めに ●すべて白でコーディネートしながら、色を重ねるように素材を組み合わせ、グラデーションを表現するのがMEMMIのスタイル ●カムウエアはもちろんメタのもの、アメリティはギリシャの自然派化粧品「コレス」をセレクト



ホテルとともに訪れたい 福岡・宗像市の観光スポット

古代より中国や朝鮮との交易の中継地として栄え、雑談にも登場する歴史ある宗像市。ホテルを訪れる機会に同市の名所へと足をのびせば、豊かな自然と歴史に出会い、景色がハッと神秘的に映えそう。



ホテル グレージュ

10月1日グランドオープンした、全室オーシャンビューのリゾートホテル。敷地内にチャペルがありウェディングでの利用も可能。レストランやラウンジのみも利用可能。
●福岡県宗像市神津600 ☎0940-38-7700 客室数/6室 料金/2名1室1泊夕食つき、税・サ込 ¥78,540〜 施設/フレンチレストラン、ラウンジ、屋外プール、チャペル アクセス/福岡空港より車で約60分、JR鹿児島本線宗像駅および宗像駅から徒歩あり <http://greges.jp/>

中村研一・輝二兄弟 生家美術館

日本近代洋画の巨匠として知られる中村研一と弟、輝二が幼少期から青年期を過ごした生家を公開。豊かな自然の残る、慶津街道とともに訪れたい。●福岡県宗像市市町159 ☎0940-38-7632 11:00～16:00 開館日は第1金土・日曜日が事前に連絡すれば対応可能



宗像神社

天照大神の御子神にあたる三女神を、沖ノ島と筑紫大島、九州本土の祖島にある3つの社に祀る。古代より交通の神として知られ、海上神事「みあれ祭」(毎年10/1開催)で有名。●福岡県宗像市祖島2331 ☎0940-62-1311 祭休 境内拝観自由 神宮苑は観覧料 ¥500 (9:00～16:30)

周辺MAP

